

都市再生整備計画 事後評価シート
三輪・内谷地区

平成25年3月

静岡県藤枝市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	藤枝市	地区名	三輪・内谷地区			面積	53ha
交付期間	平成20年度～平成24年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	1,600百万円	国費率	0.426		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名							
	基幹事業		道路【三輪本線、三輪屋敷線、三輪向原桐川橋線、三輪清水祢宜屋敷線、内谷池添線、内谷池添1号線】、公園【三輪公園】							
	提案事業		地域創造支援事業【排水路整備（三輪旭ヶ丘排水路、内谷池添排水路）】、事業活用調査【事業効果分析】							
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業		基幹事業							
	提案事業		地域創造支援事業【排水路整備（三輪旭ヶ丘排水路、内谷池添排水路）】	三輪旭ヶ丘地区における浸水被害の解消と併せ、隣接する三輪公園の防災機能向上と、水害時における避難経路の保全を図ることから、防災施設として位置付け、提案事業（地域創造支援事業）から基幹事業（地域生活基盤施設）に移行するため削除			影響なし			
新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設【三輪旭ヶ丘排水路、内谷池添排水路】			三輪旭ヶ丘地区における浸水被害の解消と併せ、隣接する三輪公園の防災機能向上と、水害時における避難経路の保全を図ることから、防災施設として位置付け、提案事業（地域創造支援事業）から基幹事業（地域生活基盤施設）に移行するため追加			影響なし	
提案事業										
交付期間の変更		当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—			
変更		なし								

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
		基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	評価値				
指標1	生活環境満足度	%	16	H19	32	H24	32	○	あり なし	地区内と地区外を結ぶ道路の新設や避難地としての役割をもつ都市公園の新設、浸水被害防止に寄与する排水路の新設が行われ、地域住民の生活環境向上が図られた。	平成25年9月
指標2	緊急車両の到達時間	分	6	H19	3	H24	3	○	あり なし	地区外と地区外を結ぶ、三輪本線の開通により、緊急車両の既存走行ルートから大幅に短縮された走行ルートの確保が行われた。 また、その他道路事業により消防活動困難区域の解消および公園整備により地区内のランドマークが整備され、現在地までの説明時間短縮が行われた。	平成25年9月
指標3	一人あたりの公園面積	m ²	0.9	H19	6.4	H24	6.5	○	あり なし	三輪公園の整備により、地区内の都市公園としての機能拡充が図られた。	平成25年9月

3) その他の数値指標（当初設定した数値指標以外の指標）による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1				モニタリング	評価値				

4) 定性的な効果発現状況
 ・地区外へつながる道が整備され、災害時の安全性を含む広域的な道路ネットワーク機能が向上している
 ・公園の拡大による緑化の癒しの効果や健康増進の向上が期待されている

	実施内容	実施状況	今後の対応方針等	
5) 実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	住民参加プロセス	三輪公園の植栽活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた	● 推進協議会への支援を継続する
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	持続的なまちづくり体制の構築	三輪公園における、除草や清掃などの公園愛護活動の地元協力支援	都市再生整備計画に記載し、実施できた	● 推進協議会への支援を継続し、活動の拡充を促進する
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				

様式2-2 地区の概要

三輪・内谷地区(静岡県藤枝市) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標:安全・快適な生活環境基盤とコミュニティの場を確保し、地域への誇りと愛着があふれた笑顔で暮らすまちをつくる		生活環境満足度	単位: %	16 H19	32 H24	32 H24
小目標:生活環境基盤の安全性・快適性を向上させる 人と人をつなぐコミュニティの場をつくる		緊急車両の到達時間	単位: 分	6 H19	3 H24	3 H24
		一人あたりの公園面積	単位: ㎡	0.9 H19	6.4 H24	6.5 H24

◆内谷池添排水路



◆内谷池添1号線

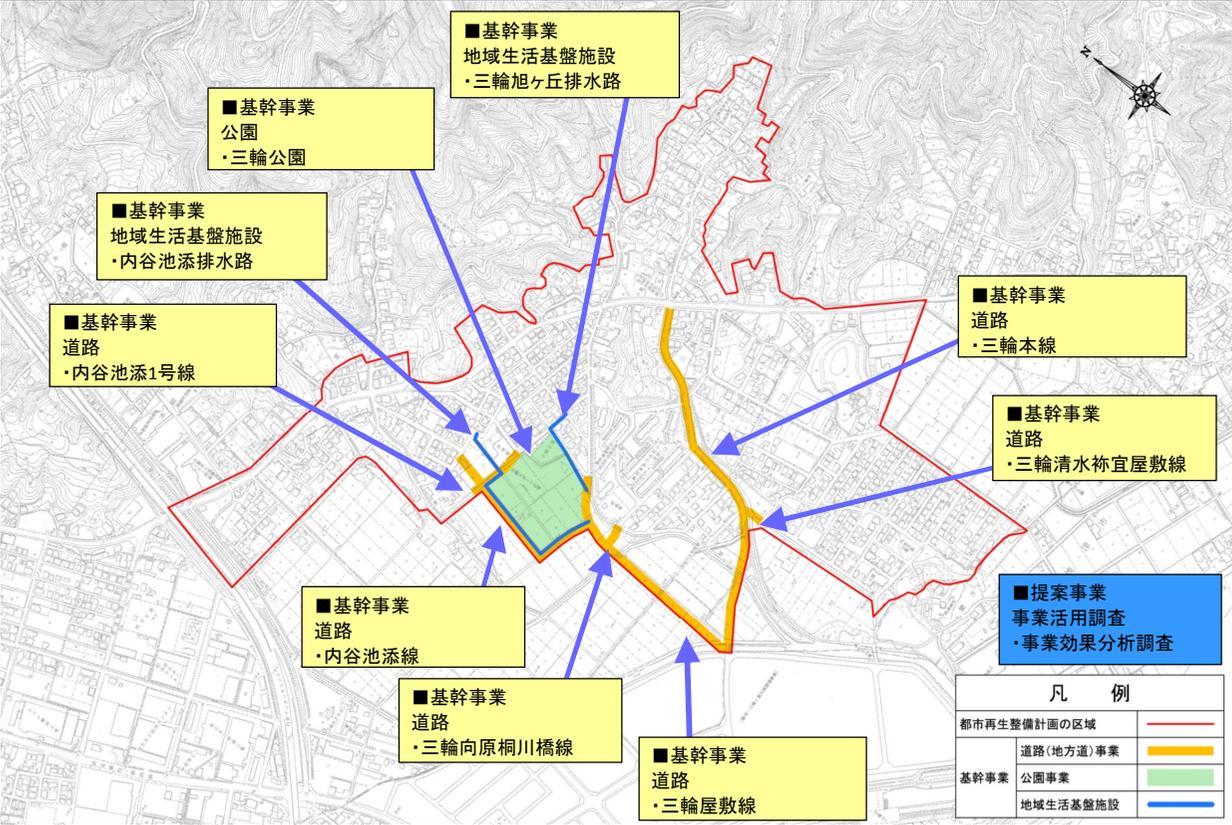


◆内谷池添線



◆三輪公園





Map labels include: 基幹事業 地域生活基盤施設 (Sanrin-Uchiyaiki drainage path, Uchiyaiki drainage path), 公園 (Sanrin Park), 道路 (Uchiyaiki 1st line, Uchiyaiki line, Sanrin drainage path, Sanrin drainage path, Sanrin drainage path, Sanrin drainage path, Sanrin drainage path), 提案事業 (Sanrin drainage path, Sanrin drainage path).

◆三輪旭ヶ丘排水路



◆三輪本線



◆三輪清水衾宜屋敷線



◆三輪屋敷線



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路ネットワークの強化、防災機能を持つ公園、及び排水施設の整備により、地区内の防災機能の強化が図られた 地区内外を結ぶ道路の新設により、交通アクセスが確保され、利便性の向上が図られた 健康増進や交流空間の機能を併せ持つ地域の核となる公園整備により、地域コミュニティを強化する場の提供が行われた 道路、公園、排水路等の生活基盤の整備が行われ、快適に生活できる環境の確保が図られた 地区内における道路ネットワーク整備は図られつつあるが、生活道路においては狭隘部の解消など、今後も道路整備を必要とする路線が存在する 基盤整備により交流の場の提供が図られたが、ソフト事業を活用し住民同士の結びつきを更に促進させる必要がある 安心して子育てができ、高齢者が快適に暮らせる環境をより向上させるため、交通安全、防犯面からも安心・快適な環境を確保する必要がある 地区内外を結ぶ道路の完成により、道路ネットワークの向上は図られたが、地区内への新たな交通流入に対する安全性の確保が課題となった
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 【防災機能の維持、防災意識向上の啓発】ハード整備としての防災性の向上は図られたことから、今後は避難場所や避難路の周知徹底を行い防災意識向上に努めると共に、防災関連施設の機能維持に努める 【アクセス道路の継続的機能維持】地区内外を結ぶ道路により、地区内外での交通アクセスの確保が図られたことから、今後はアクセス道路の継続的機能維持に努める 【地区内交流の促進】公園によるコミュニティの場の提供が行えたことから、今後は公園の利用促進を主体とした取組みを行い、地区内交流の促進に努める 【公共施設維持管理の効率化】ハード整備事業により、生活環境の向上が図られたことから、今後は道路、公園及び排水路において住民参加による愛護活動等を行い、生活環境の低下を防ぐよう努める 【生活道路の整備推進】安全で住みよい交通環境向上のために、地区内における市民生活上支障となる未改良道路の整備推進に努める 【地域コミュニティ活動の促進】地区内住民が主体となった地域づくりを行うため、自主的な活動への支援や本地区のコミュニティに係る各種情報の発信を行い、活動の持続と活性化を図る 【交通安全対策の向上】地区内での交通量増加に対して、生活道路が集積している区域を「ゾーン」として設定し、最高速度を「30km/h」に規制し、各種交通事故防止対策を行うことで、交通安全対策の強化を図る 【地域防犯活動の促進】犯罪のない安全で安心して暮らせる地区づくりを進めるため、防犯パトロールの実施や、警察と連携して犯罪予防を行うなど、地区における防犯活動の促進を行う